

第 117 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 4 年 9 月 26 日 (月)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 7 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
 - 風間まり子 / 佐藤正幸 / 清水一希
 - 竹中隆 / 富田充慶 / 松田和也 / 吉村巳之
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
 - 相京恵 / 今井陽子 / 小澤健一
 - 風間隆之 / 高井俊一郎 / 吉井照雄
 - ラジオ高崎 4 人
 - 代表取締役社長 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 執行役員放送局長 田野内明美
 - 執行役員放送部長 吉良武夫
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 「秋の全国交通安全運動 特別番組」 について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 4 年 10 月 2 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。
- 夏の県民交通安全運動 特別番組「金谷ヒデユキの熱唱！交通安全！」(7/11～7/20)
「雨の日の運転編」「信号機のない横断歩道編」
- 高崎芸術劇場大友直人 Presents T-Shot Vol.7 谷昂登ピアノ・リサイタル再放送(8/14)
- 高崎芸術劇場大友直人 Presents T-Shot Vol.8 柴田花音チェロ・リサイタル生放送(8/18)
- 第48回高崎まつり特別放送「おまつりラジオ762」(9/3)
- ソフトボールシティ高崎ファン感謝デー 宇津木スタジアムより生放送(9/11、10/9再)
- プレミアム・トーク 桂二葉(9/14、9/18再、9/29再)
- 秋の全国交通安全運動特別番組(9/21～9/30、審議対象 詳細下部掲載)
今後放送予定の特別番組
- &RADIO 御徒町スペシャル 10/1 東京上野「おかちまちパンダ広場」より生放送

※審議対象「秋の全国交通安全運動特別番組」2編

【番組名】「クイズ・らじたか学園 おしえてジョナサン先生！(14分間)」
【放送日】9/21(水)11:30、9/23(金)14:30、9/25(日)8:00、9/27(火)10:45、9/29(木)20:00
【出演者】ジョナサン・シガー、和田菜摘(ラジオ高崎)、篠原悠介(ラジオ高崎)
【内容】高崎市出身のタレント、ジョナサン・シガーが先生役となり横断歩道をテーマにクイズ形式の「授業」を実施。生徒役のラジオ高崎アナウンサーとともにクイズの問題を考えてもらい、横断歩道や歩行者用信号機に関する内容を身近に感じてもらえるような構成にした。

【番組名】「信号機のない横断歩道、とまる？とまらない？(14分間)」
【放送日】9/22(木)11:30、9/24(土)20:15、9/26(月)9:45、9/28(水)15:00、9/30(金)11:00
【出演者】小暮貴広(JAF群馬支部)、高津敦子(ラジオ高崎)
【内容】夏の県民交通安全運動特番に引き続き、信号機のない横断歩道での歩行者横断時における自動車の停止状況について紹介。高崎駅周辺のラジオ高崎独自調査をもとに、JAF全国調査データも踏まえて担当者に解説を求めた。信号機のない横断歩道では、歩行者優先であることを強調して伝えた。

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、他の番組も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

「秋の全国交通安全運動特別番組」について

- 「交通安全啓発」という固い内容を、クイズ形式にしたり独自調査を行ったりして分かりやすく伝える工夫はすごくよかった。今後の交通安全放送にも様々な工夫を盛り込んで欲しい。信号機のない横断歩道の自動車停止率独自調査は、高崎駅周辺ということもあってイメージしやすく、JAF 担当者の話も分かりやすかった。
- ドライバーに「横断歩道は歩行者優先」を強調することは大切で放送でしっかり伝えられていたと思う。一方、ドライバー目線では、歩行者が渡りたいのかどうか分かりにくいこともある。「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」が基本。子どもだけでなく、大人も横断歩道では手を挙げるように促す内容も放送に入れてみてはどうか。
- 横断歩道のライン。高崎市街地はしっかり引かれているが、郊外では薄くなったり消えかかっていたりしているところもある。見にくいカーブミラーや信号機のない危険な交差点なども含め、ハード面の不備が原因で危険になっている場合がある。こういった部分も交通安全特番で紹介して欲しい。
- 県内中高生の自転車事故が全国でワースト 1 位という調査結果が報道された。交通安全特別番組でも最新の情報を盛り込んで紹介するのもよいと思う。
- クイズ形式の特番では、生徒役に「好きな道路標識は」と尋ねる場面があったが、今まで考えたこともなく新鮮だった。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

- 高崎まつり花火中継は、ラジオ放送・インターネット放送・アプリでの放送・YouTube と多チャンネルでの発信で、移動中もシームレスに接することが出来たのでとてもよかった。打ち上がった花火の紹介も分かりやすかった。

- 高崎まつり実施日の夕方は雨が降っていた。開催情報はラジオ高崎でも放送したよ
うだが、多くの人を知りたい情報であったので繰り返し発信できるとよかった。
 - 視覚障害者や車いす利用者など障害を持つ方に役立つ情報を伝えることは重要。番
組から「思いやり」も伝えられる。ラジオ放送を通してバリアフリーがより進むよ
うなアプローチが出来ると思う。
 - 新聞紙面や、高崎市の SNS など、ラジオ高崎の番組や取り組みを多チャンネルで紹
介するとリスナー増につながり有益な地元情報に多くの人に伝えられる。
 - NHK 前橋との同時放送は、ラジオ高崎を多くの人に知ってもらえる取り組み。今後
も続けてもらいたい。NHK のアナウンサーが「エアースペース」にゲスト出演した
のには驚いた。
 - 桂二葉さんの落語会は会場に足を運んだが、二葉さんは子どものような特徴のある
声が魅力的。「プレミアム・トーク 桂二葉」の特番もよかった。
 - 「ソフトボールシティ高崎ファン感謝デー」の生放送は、会場の臨場感もよく伝え
られていた。
- ・専務執行役員関口高史より第 33 回高崎音楽祭の紹介。

以上